

国際協力について、知ることから始めてみませんか？
～AAR Japan [難民を助ける会] 佐賀事務所からのご提案～



国際理解教育 サポートプログラム in 佐賀

AAR Japan [難民を助ける会]とは

日本で生まれた、政治・宗教・思想に偏らない国際 NGO です。紛争や災害などの困難に直面した人々へ、「困った時はお互いさま」の精神で直ちに支援を届けるとともに、誰もが生命や生活を脅かされることのない社会の実現を目指した活動を続けています。1979年にインドシナ難民支援を目的に日本で発足し、以来、活動地域や分野を広げながら、これまで60を超える国・地域で支援を展開しています。(現在は16カ国にて活動中)

2016年8月に開設した佐賀事務所では、佐賀県の若い方々がより一層世界に目を向けるお手伝いをするべく、トークイベントや出前授業を行っていきたいと考えています。39年に亘る支援活動の歴史を持つ国際 NGO、AAR Japan [難民を助ける会] が、さまざまな支援活動の経験を活かし、臨場感のある国際理解教育の企画をご提案します。



ぜひ、佐賀事務所に
足を運んでくださいね。



◎さがプログラムの流れ

1、国際協力を考える事前活動

- (1) 学習テーマの選定
 - ・ 既往の学習プログラムの拡張 (例えば、人権研修の一環として…)
 - ・ 新しい分野、テーマへの取組み
 - ・ キャリア教育として NGO の事例報告
- (2) 選定テーマに関する事前課題の提供と取組み
- (3) 自分たちでできることを検討し実行⇒評価⇒検証 (PDCA : Plan-Do-Check-Action)
- (4) 課題整理



2、AAR スタッフによる講演／出前学習

各国で活動している AAR スタッフが国際協力に関する幅広いテーマ (例：難民支援、災害被災者支援、障がい者支援、地雷問題、感染症対策、人権問題、キャリアパス) を、お話や映像などで分かりやすく説明します。



3、事後学習

出前授業の感想、学びをまとめ、相互に発表し共有し理解を深める。



4、国際協力活動のステップアップ～PDCA サイクルの継続～

クラス、学年、学校単位、保護者の方々、PTA、地域ぐるみで、募金活動、バザー・フリーマーケット、リサイクル活動 (書き損じハガキ、未使用切手、図書・CD・DVD、眠っているお宝グッズの回収と業者査定による評価額の寄付など)、現地の同世代の児童・生徒に宛てた励ましのレター、絵画、絵手紙、メッセージの寄せ書きなどの郵送と文通



5、フィードバック

皆さんの寄付や支援により現地の支援を必要とする人たちの状況がどのように改善されたか報告します。社会貢献を実感していただき、それが次の国際支援の新たなモチベーションとなります。

1～5 の全てのステップで可能な限り佐賀事務所よりお手伝いをさせていただきます。

当面は謝礼はいただきません。

ご寄付や佐賀県ふるさと納税 NPO 指定寄付を通じて継続的なご支援をお願いします。

授業を受けていただく対象人数は問いません。授業時間もご要望に沿って対応させていただきます。事前に開催要項について相談させていただきます。

児童、生徒を中心に保護者、地域の皆さまが継続的に支援活動に取り組んでいただくことを願っています。まずはお気軽にご相談ください。



【お申し込み・お問い合わせ】

認定 NPO 法人 難民を助ける会 佐賀事務所

〒840-0826 佐賀県佐賀市白山 1-4-28 佐賀白山ビル 303 号 e-mail:aarsaga@aarjapan.gr.jp

TEL.0952-37-5380 FAX.0952-37-5381 www.aarjapan.gr.jp